

一 般 質 問

6月議会では、7名の議員が一般質問を行いました。

学童保育を

市宇ヶ丘学園に移転へ

櫻谷 千重子 議員

子ども達の放課後の居場所の一つであるおひさまスクールが、現在、旧牟岐小学校で実施されていますが、3年生は車に乗りきれず歩いて移動している現状を踏まえ、現小・中学校の空き教室を利用できないものかお聞きします。出来れば小学校6年生までのさらなる子ども達の居場所を構えられないか、見解をお聞きします。

後対策事業として牟岐町社会福祉協議会に委託して運営しています。現在は小学校1年生から3年生までを対象としています。活動内容は平日は宿題、読書、ぬり絵や折り紙、グラウンドでの遊びなど、長期休みの間は、異世代の交流、交通安全教室、人権研修、プールや図書館、遠足なども行っています。

おひさまスクールの充実を図り、子ども達の遊び場や学び、発達を促す活動はどのように提案しているのか、学童保育の運営、及び保護者の負担はどうなっているのか、おひさまスクールで子ども達はどうしているのかも併せてお聞きします。

事業の運営には、保護者から平日200円、長期休み400円の利用料を徴収し、町からおやこサポートセンター事業とあわせて委託費6百万円を支出しています。

受け入れについては、小学校3年生から5年生の保護者にアンケートを取り、ニーズがあれば対象を拡大したいと考えています。

町民センターの改修、改築については、現在検討中

大森副町長

おひさまスクールは放課

です。

灘地区の 道路整備と伐採を

櫻谷議員

灘地区の道路整備の遅れを痛感します。道路を造るにあたり、地権者の問題、道路のコースの問題など多々あるかと思われませんが、「道路整備のできていない地域は発展がない、過疎化

が急激に進む」と言っても過言ではないと思います。

蔭栗道の取り合い道路、また、地権者の了解を得ている栗林宅の門前のサンライインから灘への道路ですが、財源が確保でき次第、進めたいと思います。

つぎに水落地区の閉鎖にあたり、代替道路の確保は可能なのか。また、灘地区の道路にはみ出ている木の枝ですが、バスのアンテナが壊れるというクレームがありました。灘地区の町道



おひさまスクール